

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	やさしさに配慮した道づくり			総合計画コード	521
部名	都市建設部	主管課名	道路整備課	主管課部課コード	050400
関連部課名	市長公室(政策企画課)、都市建設部(まちづくり推進課)				

1. 施策概要

めざす目的成果	歩道整備や道路改良等に加え、橋梁や舗装などの適切な維持管理を行うことにより、子どもや高齢者など誰もが安全に、安心して快適に道路を利用できるまちを目指す。					
施策概要	全ての人にやさしい交通環境の整備、環境及び景観に配慮した交通環境の整備及び歩行者空間の整備。					
個別計画 関連計画	計画名称	朝霞市都市計画マスタープラン	計画期間	H	18年度 ~ H	37年度
		朝霞市道路整備基本計画		H	3年度 ~ H	年度
				H	年度 ~ H	年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	道路改良工事設計委託料 12,042千円 道路改良工事 30,710千円 歩道築造工事 16,237千円 道路舗装工事 36,019千円 内間木水路浚渫工事 1,300千円 宮戸橋耐震補強工事負担金 63,180千円 朝霞駅南口駅前通りアメニティロード化協議会運営業務委託 497千円 駅前通り無電柱化検討業務委託 324千円 橋梁改修工事 27,172千円 道路照明灯修繕料 8,019千円 道路照明灯設置工事 1,469千円 道路修繕工事 80,000千円朝霞駅前公衆トイレ・駅前広場清掃業務委託 14,904千円 北朝霞駅公衆トイレ、北朝霞・朝霞台駅前広場清掃業務委託 8,316千円 道路側溝清掃委託 10,212千円 道路清掃委託 4,016千円 除草・街路樹剪定委託 26,281千円 道路台帳補正委託 11,664千円 測量委託 475千円 水路等清掃等委託 200千円 排水機場点検委託 4,914千円 水害対策委託 337千円 不動産鑑定手数料 3,284千円 用地取得測量委託 7,884千円 建物調査・補償積算委託 2,160千円 道路用地購入費 30,620千円 放置自転車等撤去 26回 放置自転車等返還 152日 放置自転車処分 1回 放置自転車リサイクル 1回 市内10小学校新入学児童への交通安全教育 市内8幼稚園、25保育園児に交通ルールの指導					
H28年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	段差の少ない歩道整備や幹線道路の整備、雨水の排水改善、道路・橋梁の老朽化対策を行った。				
	子育てがしやすいまち	歩道整備に当たり、子どもや保護者の目線に立ち、歩きやすい歩行空間とした。				
	つながりのある元気なまち	歩道整備に当たり、高齢者及び障害のある人などが歩きやすいユニバーサルデザインとした。				
	自然・環境に恵まれたまち	歩道整備に当たり、透水性舗装とし雨水の循環に配慮した。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		213,491	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① (説明) 歩道整備延長(累計) 拡幅予定路線の歩道整備	m	76,470	76,650	76,830	77,010	77,190
		76,610	—	—	—	—
② (説明)			—	—	—	—

### 3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p>○ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ○ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点)          ● B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ○ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点)          ○ C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)</p> <p>(説明)          歩道の設置については、地権者の協力が得られた路線について設置することができた。また、雨水排水対策として有効な集水枥を交換した。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p>○ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ○ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある          ● B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ○ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある          ○ C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない</p> <p>(説明)          歩行者が安全に、安心して通行できる道路環境を整備するため、引き続き歩行者の歩行空間の確保のための歩道設置、道路改良を行っていく必要がある。また、災害に強いまちづくりとして、集中豪雨時の雨水排水対策を下水道課と連携して実施し、浸水被害の抑制を図る必要がある。さらに、橋梁や舗装の老朽化対策を計画的に進めていく必要がある。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>歩道設置、道路改良を進めるための用地確保には地権者の協力が必要不可欠であるが、沿道の宅地化が進展しており、用地取得が困難な状況となっている。また、用地取得や落橋防止対策など橋梁、舗装の老朽化対策を進めるためには財政負担が膨大となるため、財政上の課題もある。</p>

### 4. 今後の展開方針[部としての判断]

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し</p> <p>(説明)          道路は連続的に整備することで効果がより発揮されることとなるため、今後も計画的に歩道整備、道路改良を実施する。特に、安全に、安心して通行できる歩行者空間を確保するために、危険箇所について優先的に整備を実施する。また、旧暫定逆線引き地区内の区画道路については、平成26年4月に策定した「旧暫定逆線引き地区の区画道路整備計画」に基づき整備を進める。なお、整備には地権者の協力が不可欠である上、経費と時間を要することから、ハード整備だけでなく、歩行者に配慮したソフト面の施策を地域とともに進めることも必要</p>																																																													
<p>行政と市民の役割分担</p>	<p>○ I 行政の関与(役割)を拡大 ● II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 ○ III 市民の関与(役割)を拡大</p> <p>(説明)          道路整備は道路管理者である行政の責務であり、地権者の協力を得ながら市が主体となって実施していく。また、歩行者などに配慮したソフト面での施策を行う際には、対象となる現場の状況に応じて地域の方々と施策の内容・方法等について連携・調整を図る。</p>																																																													
<p>施策を構成する事務事業の次年度の方向性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">事務事業名</th> <th colspan="2">総コスト(事業費+人件費)</th> <th rowspan="2">有効性 貢献度</th> <th rowspan="2">優先性 緊急性</th> <th rowspan="2">H30に向けた 投入資源の方向性</th> </tr> <tr> <th>H27決算</th> <th>H28決算見込</th> <th>H27決算</th> <th>H28決算見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2">計 (単位:千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		事務事業名		総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性	H27決算	H28決算見込	H27決算	H28決算見込	1								2								3								4								5								計 (単位:千円)					—	—	—	<p><input checked="" type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載</p>
	事務事業名		総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性				H30に向けた 投入資源の方向性																																																				
	H27決算	H28決算見込	H27決算	H28決算見込																																																										
1																																																														
2																																																														
3																																																														
4																																																														
5																																																														
計 (単位:千円)					—	—	—																																																							
<p>審議会等の第三者機関の評価(意見)</p>	<p>【外部評価委員会】          ・歩行者等の交通弱者の安全確保のため、道路整備については着実に進められている状況ではあるが、歩道や自転車道について用地確保が困難である中でも積極的に進めていただきたい。また、事故多発地域を優先的に、警察と連携し積極的に道路整備を進めてほしい。(安全・安心なまちに関する所見より抜粋)</p>																																																													
<p>部長の意見</p>	<p>この施策は、歩道がない、又は狭いことに対する市民の不満が多い本市においては特に重要な施策であり、自動車交通の円滑化とともに、誰もが安全に、安心して快適に通行できる歩行空間の確保が必要である。地権者のご理解を頂きながら、危険箇所や旧暫定逆線引き地区の道路など、緊急性・必要性の高い路線から着実に整備を推進する。また、地震や集中豪雨などによる被害を抑制するため、緊急輸送道路となる幹線道路の整備に加え、雨水排水の改善を下水道課と連携して着実に推進する。さらに、朝霞市橋梁長寿命化計画に基づき29年度に定期点検を実施するとともに、舗装についても計画的な老朽化対策について検討する。</p>																																																													

**施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性**

施策名	やさしさに配慮した道づくり		総合計画コード	521	
部名	都市建設部	主管課名	道路整備課	主管課部課コード	050400
関連部課名	市長公室(政策企画課)、都市建設部(まちづくり推進課)				

	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 朝霞駅南口駅前通りアメニティロード化事業	35,193	2,287	4	3	現状のまま
	2 オリンピック・パラリンピック事業	—	—	5	5	現状のまま
	3 道路改良事業	—	—	5	5	現状のまま
	4 歩道整備事業	7,328	18,802	5	5	現状のまま
	5 道路用地取得事業	—	—	5	5	現状のまま
	6 都市計画総務事務事業	—	—	5	5	現状のまま
	7 交通施策推進事業	—	—	4	4	拡大
	8 交通安全施設事業	—	—	4	4	現状のまま
	9 道路施設修繕事業	84,101	86,229	5	5	現状のまま
	10 駅前広場管理事業	32,870	34,052	5	5	現状のまま
	11 道路施設維持管理事業	18,251	21,620	5	5	現状のまま
	12 道路台帳整備事業	13,564	14,704	5	5	現状のまま
	13 交通安全啓発推進事業	16,858	14,835	5	5	現状のまま
	14 放置自転車対策事業	38,356	20,962	4	4	縮小
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計 (単位:千円)	246,521	213,491	—	—	—

施策を  
構成する  
事務事業の  
次年度の  
方向性